

(19) 日本国特許庁 (J P)

(12) 公開特許公報 (A)

(11) 特許出願公開番号

特開平10-23987

(43) 公開日 平成10年(1998) 1月27日

(51) Int.Cl. ⁶	識別記号	序内整理番号	F I	技術表示箇所
A 4 7 K	4/00		A 4 7 K	4/00
E 0 3 C	1/184		E 0 3 C	1/184

審査請求 未請求 請求項の数 2 書面 (全 5 頁)

(21) 出願番号 特願平8-214904

(22) 出願日 平成8年(1996) 7月12日

(71) 出願人 390030340

株式会社ノダ

東京都台東区浅草橋5丁目13番6号

(72) 発明者 浅川 豊幸

東京都台東区浅草橋5丁目13番6号 株式会社ノダ内

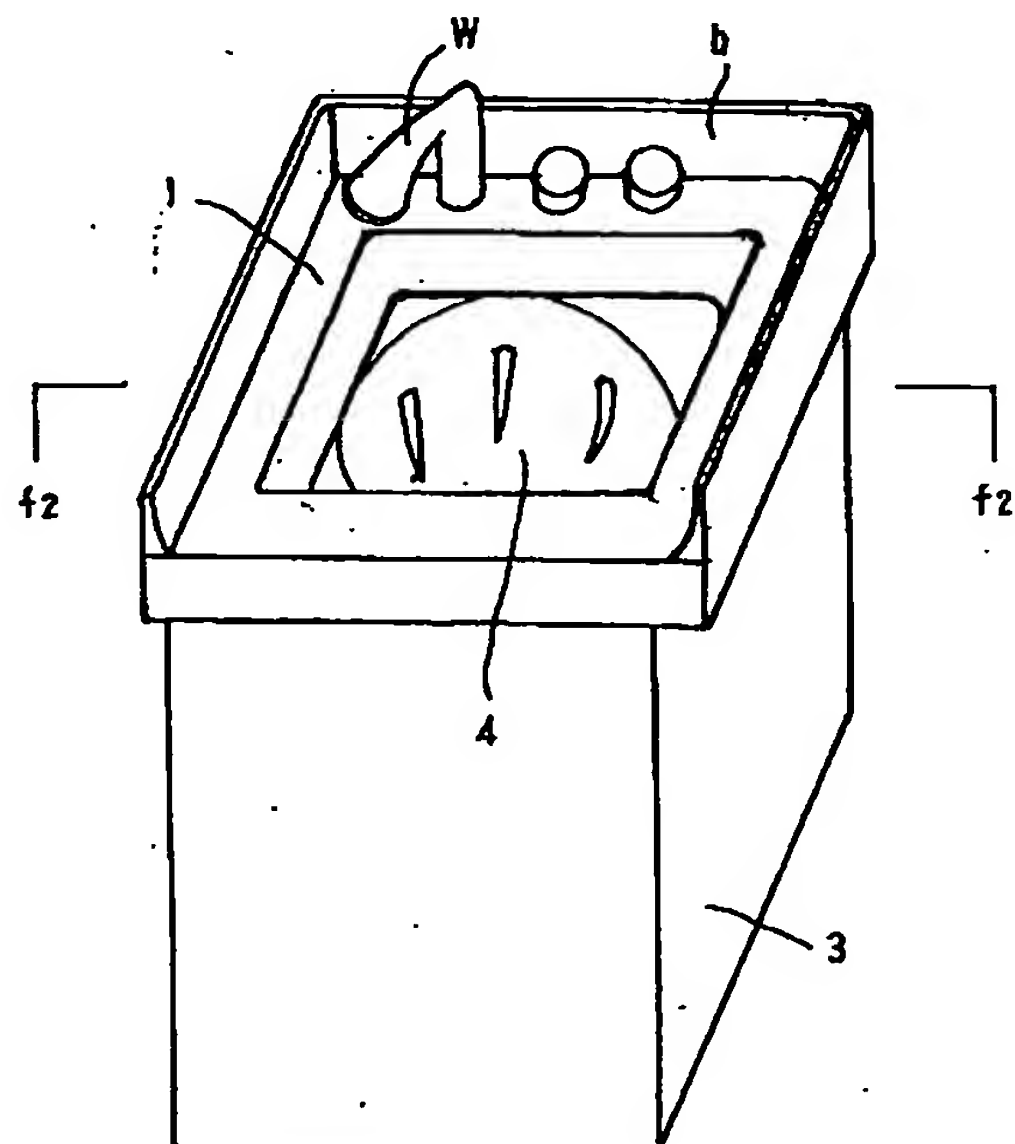
(74) 代理人 弁理士 羽生 榮吉

(54) 【発明の名称】 流し台

(57) 【要約】

【課題】 上面にワークトップとシンクが設けられるとともに、ワークトップ下面にキャビネットを備えた流し台に洗濯機を収納し、洗面と洗濯とを集約して行なうこと。

【解決手段】 上面にワークトップ1とシンク2が設けられるとともに、ワークトップ1下面にはキャビネット3が設けられてなる流し台において、シンク2底面に洗濯機開口4を設け、洗濯機開口4の直下のキャビネット2内に洗濯機3を設置収納した流し台。



【特許請求の範囲】

【請求項1】 上面にワークトップとシンクが設けられるとともに、ワークトップ下面にはキャビネットが設けられてなる流し台において、シンク底面に洗濯機開口を設け、洗濯機開口の直下のキャビネット内に洗濯機を設置収納した流し台。

【請求項2】 洗濯機開口上面にふたを設け、該ふたで洗濯機開口を閉そくしてシンクを洗面ボールとして用いる請求項1に記載の流し台。

【発明の詳細な説明】

【0001】

【発明の属する技術分野】本発明は、洗面所などに設置される洗濯機を設置収納した流し台に関する技術である。

【0002】

【従来の技術】従来より洗濯機は洗面所などに単独で設置され、洗濯作業を行なっている。洗濯する衣服の汚れがそれほどでない時は、衣服を洗濯機にそのまま投入して洗濯を行なうが、汚れがひどいときは洗面化粧台や風呂場で汚れている部分を手洗いをしたり、漂白剤などでつけおき洗いをした後に洗濯機で洗濯を行なうのが一般的である。

【0003】

【発明が解決しようとする課題】しかし、洗濯機は単独で設置されるため、手洗した洗濯物を洗濯機まで運ばなくてはならないとともに、その途中で洗濯液や水がたれてしまい通路を拭かなくてはならず、面倒であった。

【0004】また、洗面所の内装や洗面化粧台などをトータルコーディネートして色調やデザインをそろえても、洗濯機は単独で販売されているものを単体で購入して設置するため、洗濯機だけ色調が異なるものとなってしまい洗面所内を完全にトータルコーディネートすることは難しかった。本発明は以上のような課題を解決するためになされたものである。

【0005】

【課題を解決するための手段】以上の問題点を解決するために、本発明の発明者は、上面にワークトップ1とシンク2が設けられるとともに、ワークトップ1下面にはキャビネット3が設けられてなる流し台において、シンク2底面に洗濯機開口4を設け、洗濯機開口4の直下のキャビネット2内に洗濯機3を設置収納した流し台を発明したものである。

【0006】

【発明の実施の形態】以下、図面に基づいて説明する。図1は本発明流し台の斜視図であって、上面にワークトップ1とシンク2が設けられるとともにワークトップ1下面にはキャビネット3が設けられており、シンク2底面に洗濯機開口4を設け、洗濯機開口4の直下のキャビネット3内に洗濯機5が設置収納されている。

【0007】キャビネット3を構成する側板、背板、地

板、棧材などの各部材は、合板、単板積層材、木質繊維板、パーティクルボード、オリエンテッドストランドボードなどの木質系材料、塩化ビニール板などの合成樹脂系材料、アルミニウム板やステンレス板などの金属系材料などを単独あるいは組み合わせて構成され、必要に応じて表面に塗料を塗装したり、突板、化粧紙、化粧合成樹脂シートなどが貼着されたり、加飾が施されたりして化粧が施される。このようにして得られた側板、背板、地板、棧材などの部材をビス、金具、接着剤などを用いてキャビネットが箱体に構成される。

【0008】ワークトップ1およびシンク2は、ステンレスなどの金属系材料、あるいはポリエステル樹脂やアクリル樹脂などの合成樹脂系材料を成形して得られるいわゆる人造大理石より構成される。また、ワークトップ1を囲むように水はね防止のバックガードbが設けられてもよく、ワークトップ1上の壁面側には給水栓Wなどが設けられる。

【0009】必要に応じて洗面化粧台のようにワークトップ1上方の壁面側には鏡や収納棚などを設けてもよい、もしくは壁面にまた衣類乾燥機を直接固着したり、取り付けラックなどを用いて衣類乾燥機などを設置することも可能である。ワークトップ1にシンク2が取り付けられる開口を設け、開口の下面よりビスやコーキング剤でシンクを取り付けるものであるが、ワークトップ1およびシンクをステンレスなどで構成する場合は両者を一体に成形することもできる。

【0010】さらにワークトップ1とキャビネット3は、それぞれビスや接着剤、コーキング剤などで一体に固着される。流し台のシンク2底面には洗濯機開口4が設けられ、洗濯機開口4の直下のキャビネット3内に洗濯機5を設置収納する。

【0011】図1、図2に示すように、洗濯機開口4は洗濯機の洗濯物を投入する開口あるいは洗濯機内部の洗濯槽の大きさに合わせて、シンク2底面に形成する。洗濯機5はキャビネット3内に設置されるが、洗濯機5の操作パネルはワークトップ上面や前面の幕板などの位置に外部に露出して操作しやすいように設けられる。

【0012】洗濯機5は市販のものをキャビネット3内に設置することもできるが、その場合はワークトップ1前面もしくは上面に開閉自在の操作穴を設けておいて、スイッチを操作する。

【0013】洗濯機5に必要な給排水設備や電気設備などは流し台と共用することもできるし、洗濯機5専用に新たに引くこともできる。洗濯機5から発生する音がキャビネット外に漏れることを防止するために、ワークトップ1aおよびキャビネット3を構成する部材を防音あるいは吸音性能を持つもので構成することもできる。

【0014】このように洗濯機5をキャビネット3内に収納したため、洗濯機5もキャビネット3として外観上のデザインが統一できるとともに、キャビネットによつ

て洗濯機5より発生する騒音が洗面所内に伝播することを防止することができる。さらに洗濯機開口4を閉そくするふた6を設け、シンク2を洗面ボールとして用いる。

【0015】図6のように、洗濯機開口4に合わせてふた6を形成し、ふた6端面あるいは洗濯機開口4端面に、ゴムやウレタン樹脂などでパッキンを構成し密閉性能を付加する。洗濯機開口4にふた6をしてシンク2を洗面ボールとして用いたときにシンク2内の水が洗濯機5内に浸入することを防止するものである。

【0016】また、ふた6の開閉と洗濯槽の回転を連動させておいて、危険防止のためあやまってふた6が開いたときには脱水時の洗濯槽が自動的に停止するようにしておいてもよい。図7のようにシンク2全体を閉そくするふた6aを設け、シンク2上をカウンター7や作業スペースとして活用することができる。

【0017】図3のように、流し台のシンク2を幅広とし、シンク2底面に洗濯機開口4を設けるとともにシンク内に洗濯機開口4に隣接して手洗い部Sを設けることができる。

【0018】シンクを洗濯機開口4よりも幅広に構成し、洗濯機開口4に隣接して手洗い部Sを設け、該手洗い部Sで洗濯物のひどい汚れを落とすために手洗した後、そのまま洗濯機5に投入でき、洗濯物を長い距離移動させる必要がないため洗濯物からの洗濯液や水が落下せず床面などを濡らすことなく作業ができるものである。

【0019】手洗い部Sの底部は洗濯機開口4に向けて下り勾配に傾斜させ、洗濯機開口と手洗い部Sの間には手洗い部Sの汚れた洗濯液や水が洗濯機の洗濯槽内に流れ込まないように全幅にわたって排水路10が形成される。図4▲a▼は排水路10を下り勾配に設け、図4▲b▼は溝形状に排水路10を設けた場合を示す。逆に下り勾配を反洗濯機開口側に向けてもよく、この場合も排水口8を設けることはいうまでもない。

【0020】キャビネット3の手洗い部Sの下側、すなわちキャビネット3内の洗濯機が収納される部分に隣接される部分は空間となるため、前面に扉を設けて棚としたり、引き出しや棚かごを設けて物品収納部としたりすることもできる。

【0021】給水栓Wはホースが伸縮自在のシャワー式給水栓を使用することが望ましく、これを用いれば手洗い部Sや洗濯機の洗濯槽の中までも洗浄することができ、常にシンク2周辺を清潔にしておくことができる。また、シンク2底面に洗濯機開口4を設けるとともに、シンク2内の洗濯機開口4に隣接して水を貯めることができる手洗い部Sを設けてもよい。

【0022】この場合はシンク2の手洗い部Sに水を貯められるようにして、漂白剤などを用いて行なうつけおき洗いを洗面器やたらいなどを用いずにシンク2でその

まま行なえるようにするものである。この手洗い部Sにももちろん給水栓Wや排水口などが設けられることは言うまでもない。

【0023】手洗い部Sに水を貯められるようにすることはいくつか方法が考えられるが、図6、図7のように先に説明した傾斜させた手洗い部Sの洗濯機開口4と隣接する部分に仕切り板9が挿入されて仕切ることによって、洗濯機開口4と手洗い部Sが仕切られ、シンク2の手洗い部S側に水を貯められるようにすることができる。

【0024】これはシンク2の仕切り板9が挿入される部分の前側面・後側面・底面にそれぞれ仕切り板9の厚さに対応する厚みのスリットを入れておき、そのスリットにシンク2と同じ材質あるいは異なる材質の仕切り板9を挿入して仕切るものである。このときは必要なときだけに仕切り板9をもちいればよく不必要なときはキャビネット3内に収納しておくこともできる。

【0025】また、図5▲a▼▲b▲のようにシンク2に最初から仕切り9を成型しておくこともでき、この場合はシンク2が2つに分割されて形成されるような形となる。そして図5aのように仕切り9は高さを手洗い部Sの深さ分だけにして完全に手洗い部Sと洗濯機開口4とを隔離することもできるし、図5bのように仕切り9の高さを手洗い部Sの深さよりも少し低めにすれば、濡れた洗濯物はワークトップ1上を通過しないためワークトップ1を濡らすことなく洗濯機開口4を通して洗濯機5内に投入することができる。

【0026】

【効果】洗濯機5に隣接してシンク2を設けたため、汚れがひどい洗濯物の手洗いやつけおき洗いを洗濯機のすぐ横で行なうことができ、濡れた洗濯物を長い距離移動させる必要がなくなるとともに、洗濯物をすぐに洗濯機の洗濯槽に投入できるため、洗濯液や水が周囲にこぼれたりせず、周囲を濡らすことなく洗濯することができる。

【0027】また、洗濯機をキャビネット3内に納めたため、キャビネットを洗面化粧台などのデザインと合わせれば、洗濯機に対しても洗面所内のトータルコーディネートの一部として組み入れることができる。

【0028】洗濯機開口4の上面を防水性のあるふたで閉そくして、シンク2を洗面ボールとして用いることができるので、洗濯機と洗面化粧台のスペースを共用することができ、洗面所内のスペースの有効活用を図ることができる。

【図面の簡単な説明】

【図1】 本発明流し台の斜視図、

【図2】 図1f2-f2矢視断面図、

【図3】 シンク2に手洗い部Sと洗濯機開口4とを設けた場合の斜視図、

【図4】 ▲a▼ シンク2の手洗い部Sと洗濯機開口4

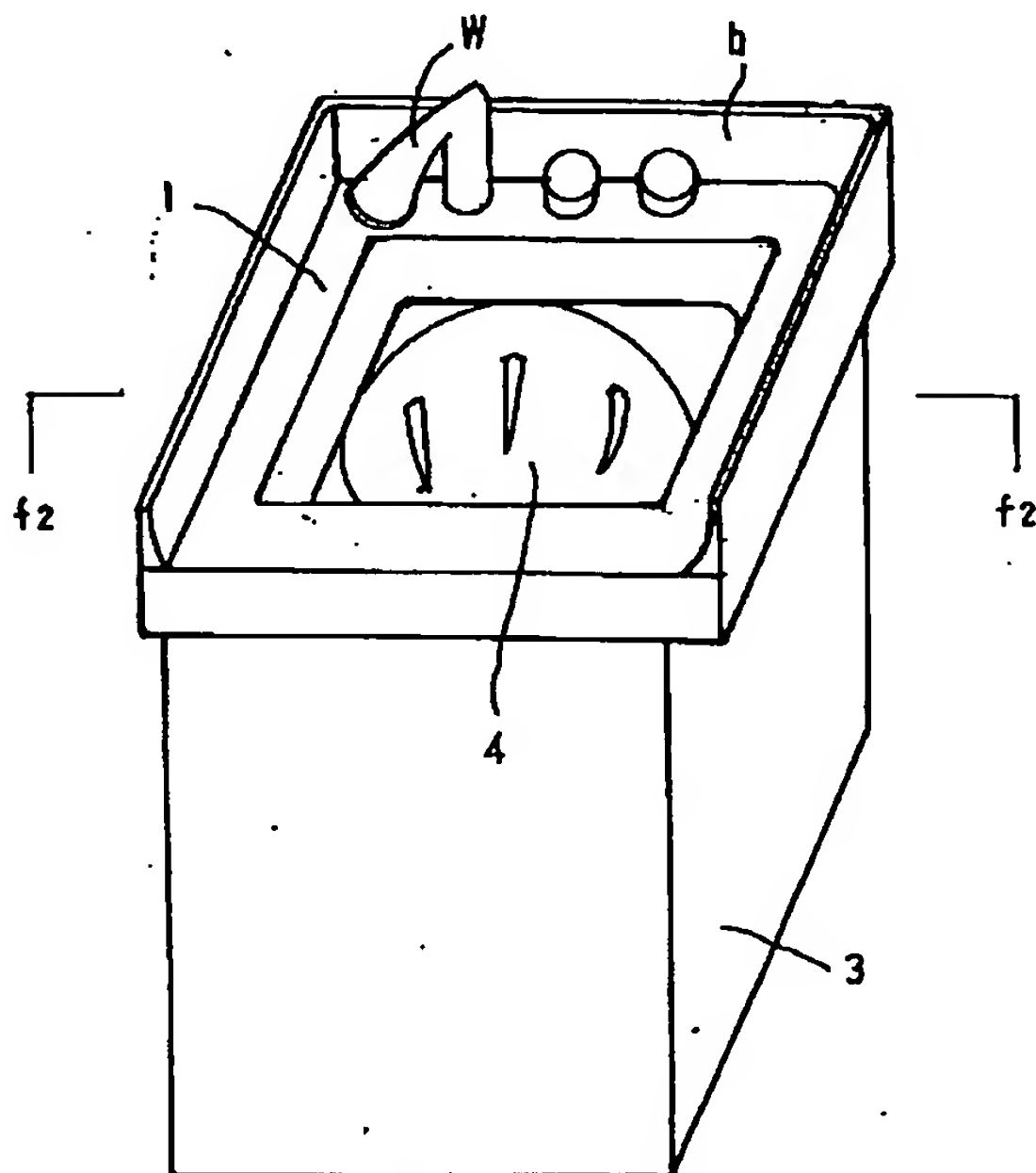
5

との境い目に排水路10を設けた場合の斜視図、▲b▼
同じく排水路10を溝形に設けた場合の斜視図、

【図5】▲a▼ シンク2の手洗い部Sと洗濯機開口4
との境い目に仕切り板9を設け、仕切り板9の高さを手
洗い部Sの深さと同一にした場合を示す。▲b▼ 同じ
く仕切り板9の高さを手洗い部Sの深さより低くした場
合を示す。

【図6】 シンク2の底面に洗濯機開口4を設け、開口
4にふた6をした場合の斜視図、

【図1】



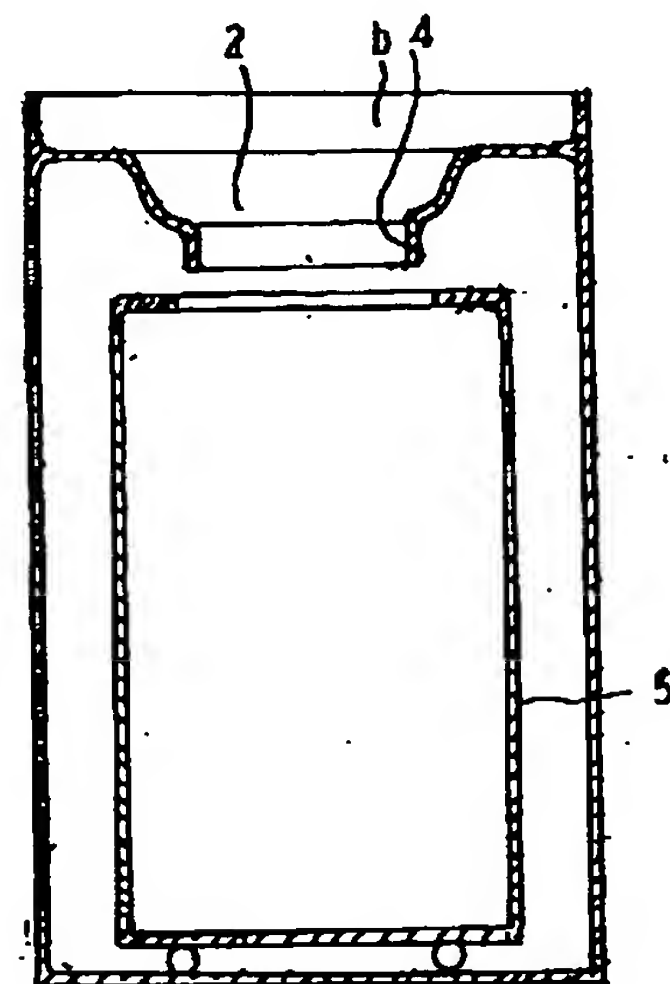
6

【図7】 シンク2にシンクふた6aをした場合の断面
図、

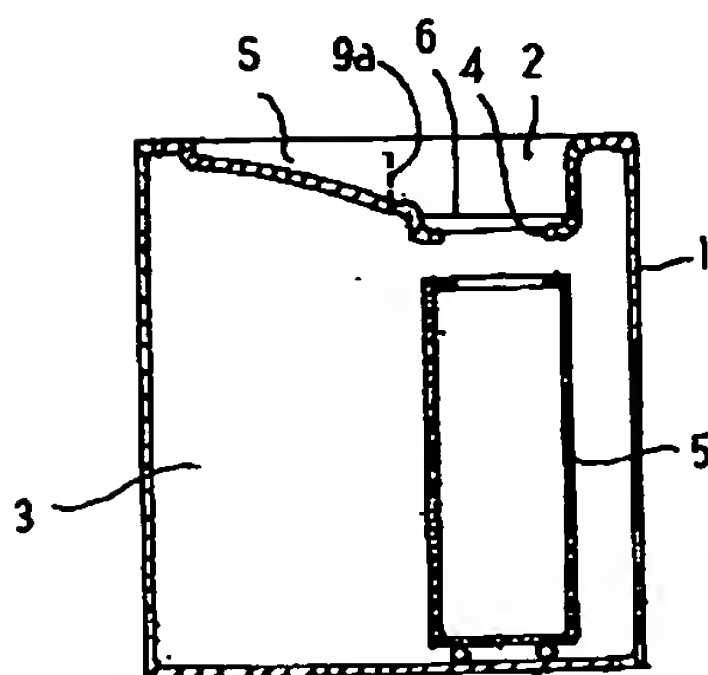
【符号の説明】

1:ワークトップ、2:シンク、3:キャビネット、
4:洗濯機開口、5:洗濯機、6:ふた、7:カウンタ
ー、8:排水口、9:仕切り、9a:仕切り板、10:
排水路、S:手洗い部、W:給水栓、b:バックガ
ード。

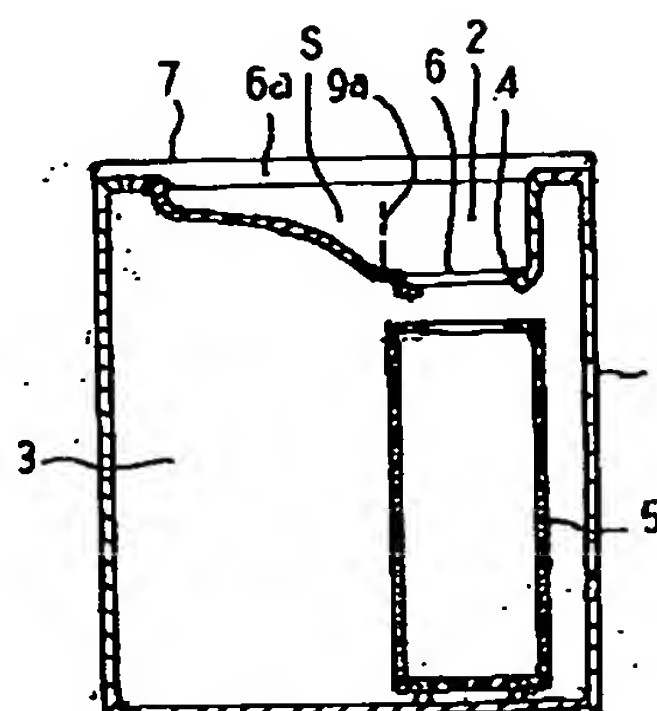
【図2】



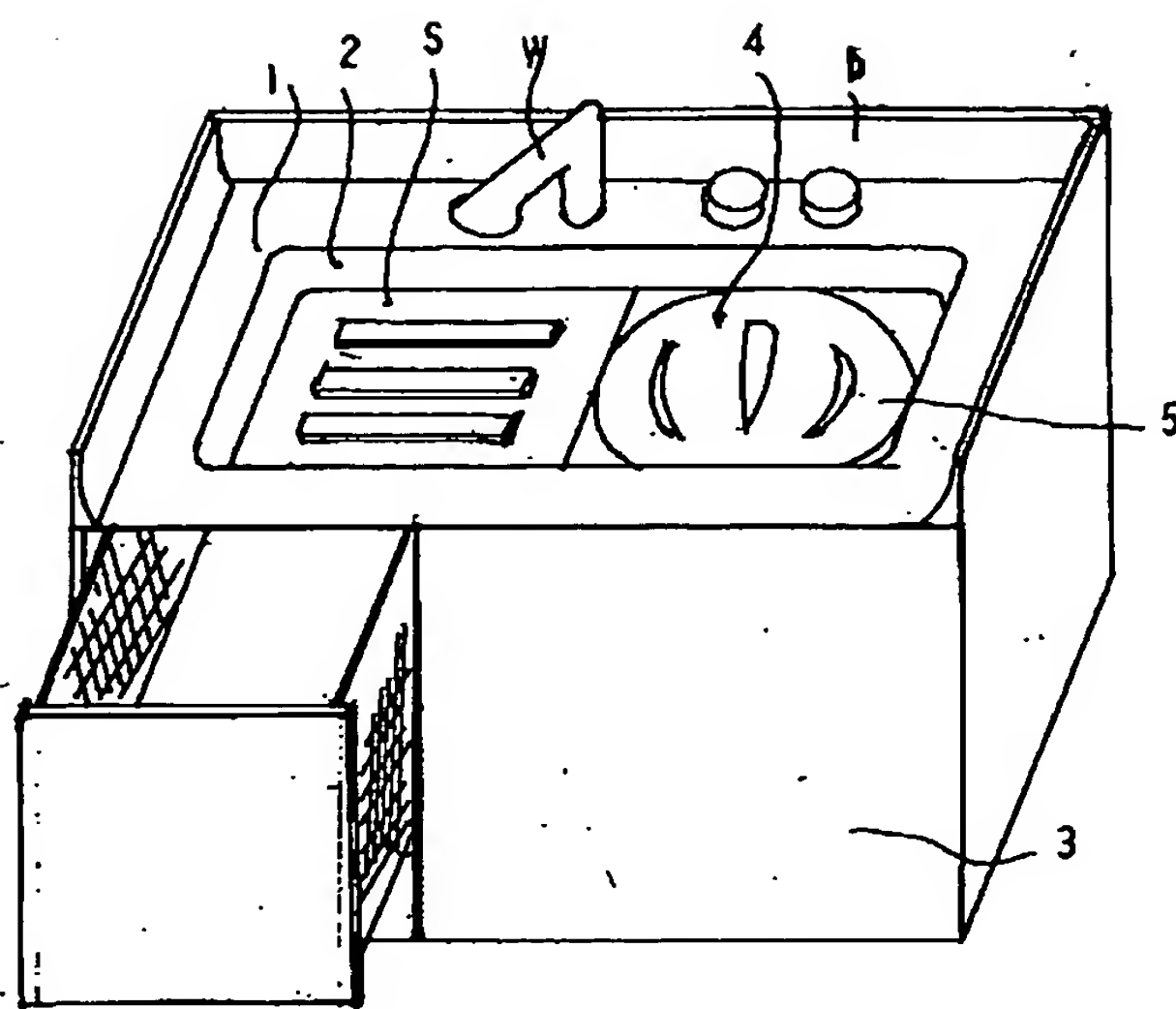
【図6】



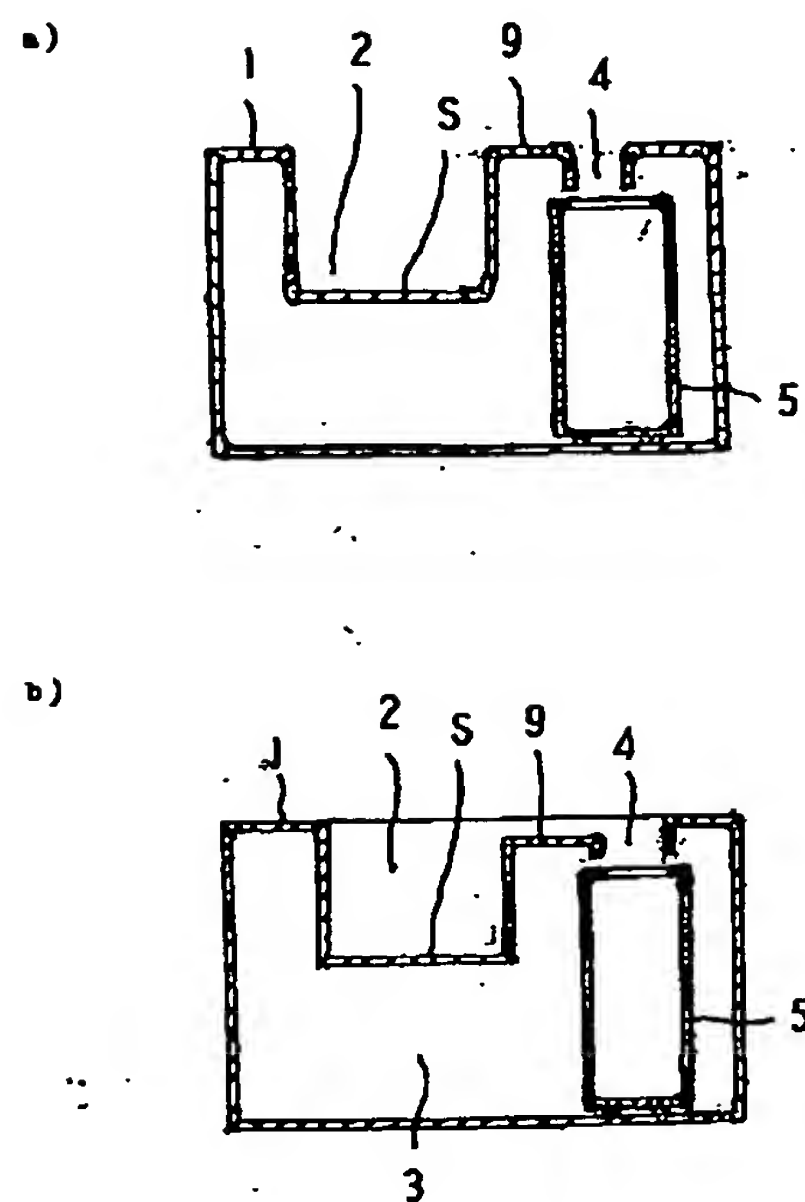
【図7】



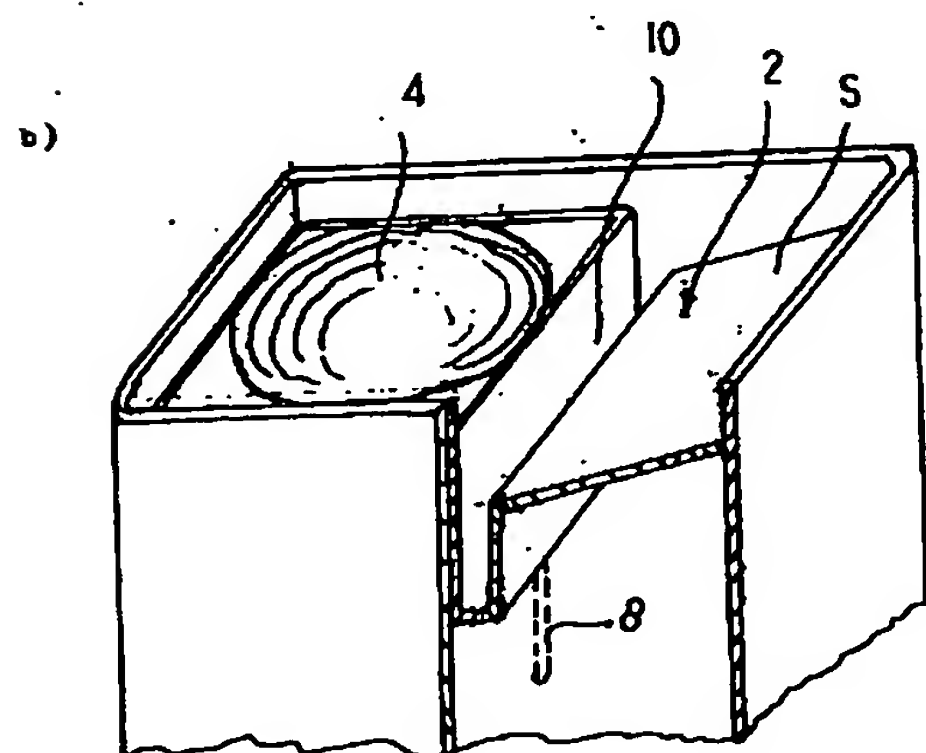
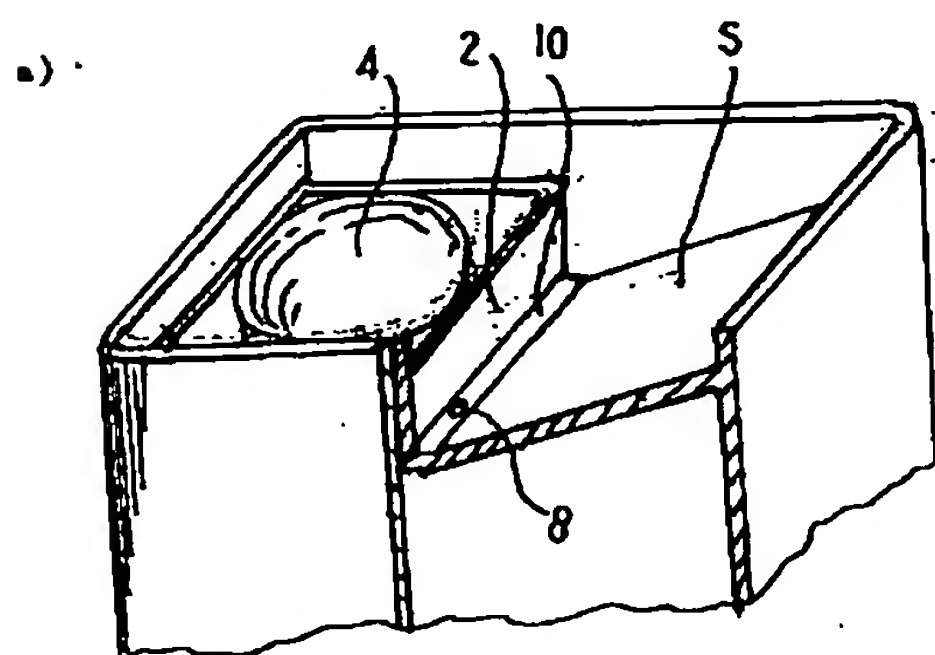
【図3】



【図5】



【図4】



DERWENT- 1998-152887
ACC-NO:

DERWENT- 199814
WEEK:

COPYRIGHT 2006 DERWENT INFORMATION LTD

TITLE: Sink installed in washing machine for hand washing of heavily soiled clothes -
has open base and is installed in upper part of washing machine cabinet, with its
size corresponding to that of cabinet opening

Basic Abstract Text - ABTX (1):

The sink is installed in a cabinet (3) of the washing machine such that top surface (1)
rests on the top frame of the cabinet. The base of the sink is opened, and its size
corresponds to the opening of washing machine cabinet.

Derwent Accession Number - NRAN (1):

1998-152887

Title - TIX (1):

Sink installed in washing machine for hand washing of heavily soiled clothes - has open
base and is installed in upper part of washing machine cabinet, with its size corresponding
to that of cabinet opening

Standard Title Terms - TTX (1):

SINK INSTALLATION WASHING MACHINE HAND WASHING HEAVY SOIL CLOTHING OPEN BASE
INSTALLATION UPPER PART WASHING MACHINE CABINET SIZE CORRESPOND CABINET OPEN